

令和5年度 清水四中グループ小中一貫教育グランドデザイン案

○児童生徒の実態と学校教育目標に込めた思い

- ・言われたことは真面目に取り組むが、自ら学習したり行動したりするなど、主体的に学ぶ姿が3校共通の課題。授業、生徒指導、特別活動他、あらゆる教育活動で子どもたちの「自ら」を引き出し、育てたい。
- ・「学び」とは学習だけでなく、全ての活動を指す。「自ら学び」は個の強さ、たくましさであり、「共に創る」は人とかがわって課題を解決したり新しいものを生み出したりする共生の姿である。

学校教育目標

自ら学び 共に創る子

視点1

重点目標



＜清水四中＞

挑戦！ ～踏み出す・続ける・乗り越える～

＜清水不二見小＞

郷土を愛し 進んで学び子

＜清水駒越小＞

自分から 動き出し チャレンジする子

【目標達成のための軸となる取組】

自己肯定感を高める生徒指導

9年間の連続性、系統性のある教育

視点2

◎学習

- ・学びの姿勢づくり
- ・主体的に取り組む家庭学習

共通する教育課程の編成

◎研修「主体的に学び、

伝え合い、深める授業」

- ・自分の考えを説明・表現する場、自分の考えを再構成する場の充実（深める）

◎道徳

- 「親切・思いやり・感謝」
- 「希望と勇気、努力・克己と強い意志」

◎生徒指導

- ・自分のよさを自覚する。
- ・目標に向かって挑戦している過程を認め合う。

◎生活「四中プライド」

- ・自分からあいさつする
- ・黙働清掃(始め・終わりの挨拶・時間いっぱい)

◎特別活動

- ・つながりを大切にし、創意ある活動を創り出す。(行事、児童会・生徒会活動)

児童・生徒交流、教職員の協働

視点3

◎児童・生徒の交流

- ・部活動体験
- ・児童会・生徒会の交流
- ・合唱祭への小学生の参加
- ・リモート交流
- ・小小合同宿泊活動



◎教職員の交流

- ・合同授業研究会や合同研修会の実施
- ・S.Kom 掲示板やメールを使った情報共有
- ・授業交流
- ・グループ内校内研修会への参加

地域との連携

視点4

◎地域を愛し、地域の一員として活躍する子の育成

- ・地域の人材やリソースを生かした教育活動の開発
- ・地域防災訓練、地区運動会・祭等への積極的な参加（ボランティア、吹奏楽部演奏等）
- ・三校合同美術展の開催
- ・アウトメディアチャレンジの設定
- ・小中一貫教育だよりの発行
- ・小中一貫学校運営協議準備会の開催
- ・小学校の奉仕作業への中学生の参加
- ・地域人材の活用
- ・情報発信・ホームページの充実